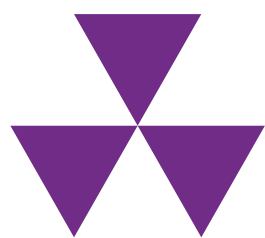


DOSHISHA TOKYO JOURNAL



同志社

東京

2018 Winter  
No.110

ジャーナル

## INDEX

新春挨拶

特別協力会員の集い

ホームカミングデー・校友会大懇親会

同志社フェア in 高梁

東京校友会はじめて物語／新島襄生誕の地碑前祭

同志社スポーツ・関東同志社スポーツユニオン総会

片桐家同志社五代記（二十三）・連載コラム 今出川四季

校友訪問／桜美林大学 学長 三谷高康さん

首都圏・校友の店／うおまんダイニング

東京校友会 関係諸団体の活動レポート

幹事会・評議員会報告・すみれ亭句会

Homecoming Day

2017.11.12

同志社校友会東京支部



# 2018年 年頭メッセージ 東京校友会会長・児玉正之

## 皆さんとともに 新たなステージに向かいましょう！



東京校友会は、昨年百二十年の節目を迎え、皆様のご支援ご協力の下、多くの記念事業を行いました。皆様にご感謝いたします。今年は原点に戻り、皆様のご意見を頂き、校友の親睦と大学・学生支援の新しいステージにチャレンジ致します。

校友の皆様、新年あけましておめでとうございます。

はじめに、皆様の東京校友会活動へのご支援、ご協力に感謝申し上げます。

昨年は北朝鮮問題、国の内外で悲惨な事件が数多く発生しま

したが、今年こそ平和で「良

心」が満ち溢れる一年になりま  
すよう祈ります。主要国の金融  
緩和に伴い世界の通貨供給量が  
八十八兆ドル、円換算で一京円  
(10の16乗)を突破、企業の好  
業績もあり、世界中が株高です

がバブルが懸念されます。バブ  
ルはおよそ十年程度で訪れ、そ  
してはじけるようですが、リー  
マンショックから十年あの悪夢  
を見ない事を祈ります。

昨年は「東京校友会百二十年  
年」の記念事業として、生誕の  
地碑の周辺整備、関東圏出身学  
生への給付型奨学金を三名に支  
給しました。記念の「春の集い」  
も過去最大の参加者の下、様々  
なイベントも加わり盛大に開催  
することが出来ました。改めて、  
皆様に御礼申し上げます。

また、規約や事業年度の期間  
変更等東京校友会の様々な部分  
の見直しを行いました。

こうした様々の企画の実現に  
ご尽力をいただきました常任幹  
事の皆様、各プロジェクト・各委

員会に参加いただいた校友の皆様  
に感謝と御礼を申し上げます。

東京校友会発足百二十一年目  
を迎えた今年を新たなスタート  
とし、更なる飛躍の礎を創り、  
新たな基盤構築にチャレンジ致  
します。活動の原点に戻り、校  
友の親睦の更なる強化により  
「輪」が更に広がる事業を充実  
し、「絆」を確かめ合える事業  
を考えております。

大学・学生への支援活動と関  
東圏での同志社のプレゼンスを  
高める活動も進めて参ります。

実現に向けて、これまで以上  
に校友の皆様のご意見、声をお  
聞きし「群れる機会」の充実に  
取り組んでまいります。また関  
東・甲信ブロック各支部との連  
携強化を通じて、関東圏の同志  
社の輪を広げましょう。

今年の新生百七十五回目  
の誕生日は振替休日です、昨年

とは趣きを変え、地域の小中学  
生と保護者に加え、校友のご家  
族・お子様・お孫様も一緒に  
緑日広場で遊びながら歴史を学  
んでいただく企画を用意しまし  
た。ぜひご家族での参加をお待  
ちしております。

大イベントの「春の集い」も  
今年は二十回目となり、新しい  
企画で実行委員長以下委員の皆  
様に取組んでいただいております。  
大勢の校友のご参加をお待  
ちしております。

「同志社大学 ビジョン2025」  
そして「同志社大学2025  
ALL DOSHISHA募金」  
もスタート致しました。

2016年の各大学の帰属収  
入に対する寄付金比率は慶応  
5.9%、立教5.0%、早稲田  
3.7%、関西は立命館3.7%、  
27.7億円、関西大2.0%でし  
たが、学校法人同志社はなんと  
1.3%の7.9億円でした。立  
命館に少しでも近づきたいもの  
です。まず一人でも多くの校友  
が募金活動をしていただく事か  
ら始めらばと思っております。

校友の皆様のご活躍、  
ご健勝を祈念申し上げます。



東京校友会会長 児玉正之

明けまして  
おめでとう  
ございます

# 第20回「春の集い」は全員着席で ホテルニューオータニに会場を変更



若林英博実行委員長

明けましておめでとうございます。  
東京校友会の皆様には寒さに  
負けず、お元気でご活躍の事と  
お慶び申し上げます。

本年5月27日（日）に開催さ  
れます「2018春の集い」は、  
会場を今までのロイヤルパーク  
ホテルからホテルニューオータ  
ニへ変更して、全員着席で皆様  
にゆつくりと楽しんでいただ  
けるように企画致しました。もち  
ろんお食事もビュッフェ形式で  
はなく各テーブルへのサービス  
となる予定です。本年は昭和49  
年卒、昭和59年卒、平成6年卒、  
が年次担当学年で、経験豊かな  
常任幹事の皆さんのお力を借り

「2018年春の集い」実行委員長 若林英博（74年・工）

ながら準備に奔走しています。

2018年のスローガンは  
「語ろう、謳おう、我が同志社」  
と銘打ちました。

そして今年は「春の集い」第  
20回の記念の年に当たります。

講演は同志社の大先輩である茶  
道裏千家 鵬雲斎千玄室大宗匠  
をお招きし、同志社の

思い出やお茶を通して  
「一碗からピースフル  
ネス」として世界の平

和を願って活動されて  
こられた様々なお話を  
していただきます。

大宗匠は大正12年生  
まれ、ご講演の時点では  
95歳になられますが、

現在も矍鑠として  
世界中を駆け巡ってお  
られます。

イベントは昭和42  
44年卒で同志社大学軽  
音楽部で活躍されてい

たタイムファイブの皆

さんをお招いてスタンダードジャ  
ズや日本のポップスを歌ってい  
ただきます。熱き青春の日々が  
よみがえる事と存じます。今年  
で結成50周年を迎え各地におい  
てコンサートをされています。  
CDやグッズの販売も計画して  
います。

「春の集い」の新会場は、ホテルニューオータニ（千代田区紀尾井町）



「春の集い」の新会場は、ホテルニューオータニ（千代田区紀尾井町）



記念講演は千玄室大宗匠

最後に大懇親会。  
ニューオータニの美味  
しいお料理に舌鼓。一  
流ホテルの味を堪能し  
てください。興に乗っ  
てきましたら、先輩は  
後輩に、後輩は先輩に  
語り掛けましょう！  
大いに青春を謳歌しま  
しょう。あの輝かしく  
過ぎた我が同志社へ  
この瞬間にタイムス  
リップします。  
また例年の、メサイ  
ア演奏、大名刺交換会、  
物品販売、大抽選会、バザール  
も企画検討中です。  
今回は特に大宗匠のご厚意に  
より、式典前に皆様方へお呈茶  
（お抹茶のサービス）を企画い  
たしました。美味しい京都のお  
菓子と、お抹茶でひと時をお過  
ごしく下さい。この京菓子も販  
売しますよ！  
毎回各年次会、各諸団体、校



タイムファイブは、軽音楽部OB

友、更に各企業の皆様には物心  
両面でサポート頂いています。  
本年もぜひグループでお誘いあ  
わせの上全員のご参加と、でき  
ましたら名刺広告等をお願いし  
ます。企業の皆様方には諸般厳  
しき折ではありますが、何とぞ  
企業広告などのご協力をお願い  
致します。等々書面をお借りし  
て春の集いの予告とお願いを申  
し上げました。

本年が皆様に取りましてより  
良き年になりますようにご祈念  
申し上げます。

5月27日（日）にお目にかか  
れることをスタッフ全員でワク  
ワクしてお待ちしています。



# 「特別協力会員の集い」での松岡学長講演！ 「ビジョン2025」の理解と協力をアピール

10月27日（水）18時より、

同志社大学東京サテライト・キャンパスにて東京校友会「特別協力会員の集い」が行われました。松岡敬学長をお迎えしての講演会では同志社大学が掲げた「ビジョン2025」を着実に推進していくための一層の理解と協力、そして具体的な財政的支援が強く訴えられました。

まず、児玉正之会長から校友会にいつもご協力頂いている特別会員の皆様へお礼の言葉がありました。続いて、今年から特別協力会員のイベントの頻度を



熱くアピールする松岡敬学長

「同志社は創立者新島襄の生き方を建学の精神として、良心教育を掲げております。この良心教育こそ、一生大切にしたい人生を歩んでいくものです。また教育理念のキリスト教主

増やしていく方向の中で、すでに若手会員と合同の特別講演会などを開催したことや、特別会員のエンブレムを作成したことなどを報告。その後、「本日は少子化の中で、『躍動する同志社』を掲げ、新島襄の2000年の大計に繋がる創立150周年に向けてのビジョンを実行されている松岡敬学長に講演いただきました。このビジョンを支える募金について校友会も一致団結して支援を行います」との開会の挨拶がありました。

松岡学長の講演は「ビジョン2025」の詳細な説明から始まり

義、自由主義、国際主義は新島が10年間のアメリカ生活で多くの人々との出会い、また世界に目を向ける中で得たものが基本になっています。

同志社の歴史を50年単位で区切れば、創立から最初の50年はキリスト教主義を土台に学校を作る、次の50年は自由主義を掲げ、今の50年は国際主義の多様性をしっかり進化させることとした。新島が日本を変える人々の教育を目指したように、世界を変える人々の教育を目指します。

世界はグローバル化が進み、AIやIoTなど科学の進歩は凄まじい勢いです。そうした時代をリードできる多様な価値観を認める人間力をもった人、専門力に対応できる柔軟な教養をもった人物を教育していきます。

それにはまず、志のある人物の受け入れです。18歳未満の人口が減少する中で同志社の受験生は前年比10・8%も増加し競

争率は3・2倍の難関大学になりました。また、同志社の入試はマーク式ではなく記述式を長年導入しています。1枚1枚の解答用紙を見ながら判断力、表現力を評価しています。他の大学にない素晴らしい部門やメニューを作り、関

東からの学生を増やし、外国人の留学生の受け入れも13%にして、国際主義の進化の表れとしての、ダイバーシティ・キャンパスを目指します。

同志社の教育については正課科目にプロフェッショナルの知見を加えた実践講座や理系女子の育成プログラム、文化系と理系科系の融合を目指した教育や学長主導型の教育改革を



松岡学長を囲んで記念撮影(同志社大学 東京サテライト・キャンパス セミナー室)

現在実行中です。課外活動でもグローバル化を支援し、私学ではじめて文化庁との共同研究も始まりました。研究科を超えた共同研究で大学院の改革も推進し、ドイツのテュービンゲンに開校したEUキャンパスの教育体制を整備し学生に留学の機会を与えます」とのことでした。募金に関しては藤澤義彦副学長より説明がありました。

「学長が説明しましたビジョン2025を推進するためには



釣巻洋子さん(生命医科学部3年)

「洞爺湖サミット」の時に同志社の学生有志が発案し、世界11カ国14大学の学生が結集する世界初の学生サミットが実施されました。今回10年ぶりに、厳しいコンペティションを勝ち抜き同志社大学が再び「世界学生環境サミット」の開催権を獲得。学生運営委員会代表の生命医科学部医学生システム学科3年次生、釣巻洋子さんが「特別協力会員の集い」でPR。「日本、

## 世界学生環境 サミット学生代表 からのアピール

150億円の予算が必要です。その3分の1の50億円の募金を10月から開始しました。創立150周年に向けて共に漕ぎ出したい未来があります。同志社2025 ALL DOSHISHA募金へのご協力を！」と強くアピールしました。

## 交流レセプションも 大盛況の中で

京都、そして同志社大学で開催することの意義を十分に活かし、最終的には学生意見書を作成し国際機関に提出する予定です。協賛金集めも学生自ら行っており、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

懇親会は場所を京橋の「トランジット・ターブル・ドール」に移して20時から開始。参加者は2017年度新規特別会員10名を含む77名。メンバーは各企業の社長や役員、国会議員から弁護士まで多士済々。長谷川正治校友会副会長からのご挨拶と乾杯のご発声、来年の「春の集い」若林英博実行委員長の挨拶の後、各テーブルでも名刺交換が始まり、賑やかな懇談となりました。新規入会者のスピーチ、小嶋淳司がこんふードサービス(株)会長の中締め挨拶などがあり、最後に小山利喜東京校友会常任幹事のリードでカレッジソングを合唱し、同志社チャイロで盛り上がり、お開きとなりました。

文責／作村満明(77年・法)

## 「特別協力会員」の輪

「特別協力会員の集い」出席者のうち、本誌への掲載について、ご了承いただいた方を収録しています。(卒業年順・敬称略)



18年間アメリカに駐在していましたが、ゴルフ、ドライブ等が今でも好きです。ボケ防止と趣味を合わせてカラオケでは英語の歌をよく歌います。会社には未だ週1回顔を出して個人的な雑用をこなしています。現在76才ですが年間ゴルフは歳と同じぐらいやっています。

辻本博圭(65年・法学部)  
(株)近鉄エクスプレス



大阪商工会議所副会頭を9年間務め、この度任期満了で退任致しましたが、引き続き監事に就任。これからも、大阪・関西の発展に微力ながら注力して参りたいと考えております。

小嶋淳司(62年・経済学部)  
こんふードサービス(株)  
代表取締役会長



12回目の転勤で漸く自宅からの勤務となりました。会社人生も36年余、来年は還暦を迎えますが、何か新しいことにチャレンジしようと試行錯誤している今日この頃です。

永野寿幸(81年・経済学部)  
そんぽ24損害保険(株)  
代表取締役社長



ANAの青い翼と共に、日本中、世界中を駆け回ってききました。今は、地域創生・産学連携等を推進する仕事をしております。オンもオフもますます元気一杯、楽しんでいます。

河本宏子(79年・文学部)  
ANA総合研究所  
代表取締役副社長  
同志社東京校友会副会長



NTTを11年前に退職し、参議院議員としての活動は10年を超えました。NTTでも国会でも同志社の先輩にお会いすると勇気をいただきます。私にとって原点である同志社時代と良心碑を胸に抱きながら前に進みます。

吉川沙織(99年・文学部)  
参議院議員



福岡出身の九州男児です。仕事で日本の港を転々とし、只今は東京で漂流しています。卒業後は、仲の良いゼミの連中と同窓会を京都近辺で開催。今回、大の得意先でもあります大先輩に勧められ入会させて頂きました。よろしく申し上げます。

田原典人(82年・文学部)  
株式会社 上組  
取締役常務執行役員



ジャーナルレポート①

秋の京都で3大イベント

リユニオン&ホームカミングデーと  
校友会大懇親会に  
関東の校友も



リユニオン開会式後の大集合写真(栄光館)。なごやかな表情が揃いました

栄光館に響く賛美歌

11月12日(日)、昨夜の雨もすっかり上がった朝9時。穏やかな京都の秋の一日の始まりは、今出川キャンパスに直結している地下鉄の駅の階段を上がる校友たちの足取りをすっかり軽くさせているのです。式典は10時からと承知していながら、一刻も早く懐かしいキャンパスの雰囲気を感じたい。そういう気分が充分に伝わってきます。

西門やチャペルの前に集まって記念写真を撮っているグループ。昔「ガッカン」＝学生会館があったところ、いま寒梅館が建つあたりを感慨深げに見上げる二人。各イベントの準備をする職員や学生の間をゆつくりと明徳館前広場からクラーク記念館のほうに歩いて行く人。どこ

からか聞こえてくるカレッジソングや応援歌も耳に心地よく響く。そんなふうにして、各年代の、そして各地の校友たちが続々と集まって来る中、2017年のリユニオン、ホームカミングデーの開会時間が迫ってくるのです。

10時。女子大キャンパス内の栄光館に入っていく多くの校友の中に、関東・甲信地区から参加の面々も。

東京校友会の児玉会長、横山代表幹事、神内副会長や竹村神奈川県支部長をはじめとする総勢約20名の校友です。リユニオンとは再会、再結合、懇親の意のことですが、開会式会場の栄光館はまさにそれにふさわしい同志社のシンボル。大方は入学式と卒業式しかご縁がなかった建物ですが、荘厳な造りの館内

同志社の卒業生が晩秋の京都、今出川キャンパスに集うリユニオン、ホームカミングデーと校友会大懇親会。学校側と校友会が一体となったさまざまな試みは、関東・甲信からの参加者にも、まさに「変わるものもあれば変わらないものもある、同志社の『今』」が感じられる一日になりました。



ミスキャンパス同志社ファイナリストの皆さん  
右から2人目がグランプリの杉浦みずきさん(商学部2年)、  
1番右が準グランプリの今川菜緒さん(商学部3年)

に入ると、やはり気がひきしまります。

開会式の始まりは賛美歌234Aから。慣れている人は肃々と、慣れていない人もそれなりに唱和して、参加者全員のが持ちが整ったところで、横井和彦キリスト教文化センター所長による聖書朗読と祈禱。さらにグリークラブによる「寒梅詩」



1日県人会 関東・甲信ブロックで、左側奥が神内副会長

続いて、関東・甲信グループ  
様々なイベントの中で

合唱で、いかにも同志社のリユニオン、となったところで八田英二総長・理事長が「みなさん、ようこそお帰りなさい」と挨拶。そのあとに、松岡敬学長、井上礼之校友会会長、玉村三保子同窓会会長の「歓迎のことば」が続きました。

式後半には、カレッジソングの斉唱、中村信博理事の祝祷があり、最後は参加者全員の「大集合写真」撮影。これくらいの人数での撮影は非常に難しいのですが、皆さんいい笑顔で、和やかな雰囲気の中、滞りなく式次第を終えました。

は児玉東京校友会会長を先頭に、ホームカミングデーの受付が行われている良心館へ。と、その途中で、「クラーク記念館前で、集合写真を撮りましょう」という新田東京ジャーナル編集長の声。それはいい記念だね、ということ、皆さん機嫌よく集まってもらったのが、今号の表紙写真となりました。

さて、良心館地下広場での受付ですが、エントリーシートを受け取ると、参加者の現住所地域を訊ねる「どちらから？」という欄の選択肢に、京阪神の他、中国、四国、九州、東海などはあるのに、なんと関東、甲信はなし。やむなく「その他」に○をして「今後の検討課題にしてもらいましょう」ということで一同了解。ホームカミングデーの各イベント会場に散開していききました。

クラーク記念館と神学館の間のスペースでは野点。煉瓦の洋館に和服とお茶の緑がよく映えます。お菓子にはクローバーマークが入っていて、食べるのがもったいないくらい。図書館東側のテントでは新島旧邸見学ツアー（タクシー無料）の受付があり、けっこうな賑わい。

会場内をぶらぶらしているのは、同志社のゆるキャラ「BEN-K」くん。新島の愛犬ビートル犬の「弁慶」がモデルだとかで、ファミリー参加の子供たちの人気者になっていました。その横を、在学生がツアコンになった「キャンパスツアー」が10人ほどのグループに分かれて通り抜けて行きます。

この日のメインイベントの一つ、松岡学長講演が明德館大教室で11時から。2025年に創立150年を迎える同志社の「ビジョン2025」について、熱弁をふるわれました。そして、さらに優秀な学生が増えるということはよく分かりました。ただ、スポーツは私学の看板のひとつであり、全国の校友の絆を深めるためには実に有効なジャンルであるので、そこにも言及して欲しかったな、という声もあったこともちょっと付け加えておきましょう。

同志社の「良心」を語る

リユニオン関係では、昼食タイムに「卒業生交流レセプション」があり、児玉会長、横山代表幹事などが積極的に参加。一方、校友会大懇親会としての催



校友会大懇親会での八田総長・理事長の講演



野点の席でのお茶と和菓子



同志社の人気ゆるキャラ、BEN-K

事は、キャンパスイベントでの同志社マルシェ「全国の特産品販売」と明德館地下での「一日県人会」。各県出身の学生とOB校友の交流の場ですが、こちらでは神内副会長が千葉県支部長の「顔」で、千葉出身の学生とコミュニケーションを深めていました。

校友会大懇親会のメインイベントは、良心館での八田総長・理事長の講演。高野連会長でも

あるご自身の甲子園でのスピリチを例に挙げながら、「同志社の良心教育」について深く、とくに軽妙に、詰めかけた校友に語りかけました。その良心館の地下広場ではグリーククラブの合唱、応援団の演舞などが続き、実り多い一日も16時半の閉会式をもって終了したのでした。

文責／谷村和典(72年・文)  
写真／新田博伸(77年・法)  
用品知美(15年・文)



ジャーナルレポート②

「同志社の原点」を訪ねるシリーズイベント

同志社フェア in 高梁で深めた思いを

岡山駅から、伯備線に乗り換え、普通電車で高梁川をさかのぼること約一時間ようやく備中高梁駅に到着。ここで「同志社フェア in 高梁」が開催されると聞き「新島襄が何故に地方の小都市である高梁と関係があるのか」と不思議に思いながら会場へ…。

新島襄と高梁の深い関係

新島襄が生まれた安中藩江戸藩邸はここ備中松山藩（岡山県高梁市）の分家に当たり、幼少期から脱国にいたるまで、新島は多くの備中松山藩の人々と交流し多大な影響を受けていたのでした。備中松山藩江戸藩邸の藩儒に師事し漢学を学び、備中

松山藩所有の洋式帆船「快風丸」での函館への航海を新島に許可した藩主とそれに協力した藩士達、そうしたことがなければ新島は日本から脱国することもアメリカに渡ることもできなかったでしょうし、もちろん帰国して同志社の設立も叶わなかったことでしょう。

同志社設立後も新島は高梁を2度訪問しています。初めての訪問以降、高梁でのキリスト教伝道活動が急速に発展し、プロテスタント教会としては日本で2番目に古い高梁基督教会設立に繋がります（1番古いのは京都の同志社教会）。その後、同教会は多くの教育者や社会福祉者を輩出し、新島襄は高梁の教育や文化の発展に大きく寄与したのです。このように、新島襄と高梁、そして同志社との間には実に深い関係があったのです。

第一部 地域交流イベント

10月28日（土）、台風が近づく雨もようの中、全国からの卒業生や地域の方々約400名が続々と高梁総合文化会館大ホールに集い、盛大に同志社フェア in 高梁が開催されました。

北川雅章副学長の開会の挨拶

その後、佐藤優さん（作家、同志社大学神学部客員教授）が「新島襄と高梁」と題して記念講演。講演会は、同志社大学出身で高梁基督教会の八木橋康弘牧師の紹介から始まりました。

「八木橋牧師のように、その



地域交流イベント 同志社グリークラブと高梁青少年少女合唱団のジョイントコンサート

佐藤優さんの記念講演「新島襄と高梁」





卒業生交流レセプション(ホテルグランヴィア岡山)

地域に根づいて活躍する人物の輩出こそ新島が目指した教育ではなかったのではないか。高梁との関係を考えて、新島は道を拓く天才であり、自分の上司(殿様)が駄目だと判断すると、斜め上の上司(備中松山藩主)に助けを求め、函館まで連れていってもらっています。社会に出れば、部下は上司を選べないが、大学では逆で学生が教授を選べます(笑)。

函館でも新島は誰に英語を教わったと思いますか? ロシア人のニコライ牧師から英語を学んでいます。アメリカでの新島裏はギリシャ語とラテン語が苦手ですが、しかし、それは日本

とアメリカの教育システムの違いであり、だからこそ、日本に帰国してキリスト教精神の学校を作ろうと思ったのです。同志社英学校の最初の卒業生、金森通倫(石破茂氏は曾孫)は卒業後、岡山県の牧師になりました。そして、ゆかりあるこの高梁に新島裏を呼んだのです。

さて、最近の北朝鮮問題にしても、核戦争の確率は1000分の1くらいですが、もし起これば、推定200万人以上の犠牲者がでます。外交努力による解決を図る必要があります。

また、2020年から学習指導要綱が大幅に変わります。数学にも記述式が導入され、英語も実用的になります。20年後には新しい教育を受けた若者が社会にでてきます。松岡学長はそれに对应できる教養を身につけた人材の育成を目指されています。神学部でもリーダー養成としてかなり勉強させています。今、世界学生環境サミットを10年ぶりに京都で開催するというようなグローバルな活躍をする学生や、大学卒業後は地元に戻り税理士になりローカルで活躍したいという学生、海外へ留学する学生もいます。京都にある

同志社は中央集権ではなく、各地で良心的に能力を発揮して一生懸命に頑張る人を輩出する。これが新島が目指した教育ではないでしょうか。これからも校友の皆様のご支援をよろしくお願い致します」

講演会終了後の15時から、今年の全日本合唱コンクール学生部門で関西1位を受賞した同志社グリーククラブと高梁少年少女合唱団のジョイントコンサートが行われ、グリーククラブは「カレッジソング」から「宇宙戦艦ヤマト」まで4曲を披露。少年少女合唱団も3曲歌った後、最後に合同曲として昨年CMソングから話題になった「海の声」を合唱。お互いの美しいハーモニーで大いに地域交流がなされたのでした。

## 第二部 卒業生交流レセプション

18時より、場所を岡山駅前のホテルグランヴィア岡山に移し、全国から駆けつけた150名の卒業生と交流レセプションを開催。松岡敬学長及び長谷川正治校友会副会長の開会挨拶があり、高木晶悟校友会岡山県支部長の乾杯の発声から懇親会がスタート。参加者が岡山の名



高梁基督教会堂で八木橋康弘牧師からお話を聞く

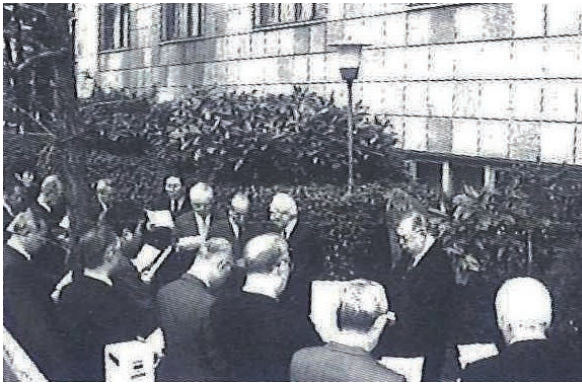
グ」の大合唱へ続き、会はお開きとなりました。

翌日はゆかりの地を有志で見学しました。若き新島が瀬戸内海の航海で立ち寄った倉敷の西爽亭や高梁市の備中松山城、武家屋敷などを巡り、高梁の同志社フエアは盛会のうちに終了しました。

産に舌鼓を打ち、盃を傾け和気藹々と交流と親睦を深める中、後半には同志社グリーククラブが再び登場して、「若草燃えて」などで会を盛り上げてくれました。その後、中村友一校友会副会長の英語でのスピーチ、豊原洋治校友会副会長の挨拶から参加者全員による「カレッジソ

文責/作村満明(77年・法)  
写真/新田博伸(77年・法)





2000年(平成12年)の「生誕の地碑前祭」(東京ニュース39号より)

## 連載 東京校友会はじめて物語(6)

# 新島襄生誕の地碑前祭

～西村四郎名誉顧問へのインタビューから～

今年も2月12日(土)に、校祖新島襄の生誕を祝う「生誕の地碑前祭」が神田の学士会館前で行われます。これは西村さんが支部長になってから取り組み、始められたものです。

戦前からあった大磯の「終焉の地碑前祭」に比べると神田学士会館の「生誕の地碑前祭」の歴史は実はまだ浅い。1998年(平成10年)、西村さんが東京支部の支部長になってから、「終焉の地の碑前祭があるのだから生誕の地でも行いべし」と熱心に提唱されてから始まりました。西村さんによれば、「わしはかねてから、大磯の終焉の地碑前祭が昔からあるんやから、生誕の地の碑がある東京神田でも碑前祭をやるべきやと主張しとったんや。大磯があつて、こっちがないのはおかしいと。しかし、当時はそういうものは学校がやるべきもんと主張が強く、やることに消極的な人が多かったんや。面倒という人もいたしな」

西村さんは何でも積極的にやりたい方でしたが、この件に関しては積極的な意見の人は当時まだ少なかったようです。

しかし、西村さんが支部長に就任してから、かねてからの自分の意見を主張され、呼びかけたとのこと。「神田でも生誕碑前祭をやるうと強力にリードしたんや」と当時を思い出し、元氣にお答えいただきました。

その甲斐もあつて2000年2月12日に「生誕の地碑前祭」をとり行ったとの東京ニュースの記事が残っています。

「ただ、その時は15名ぐらいしか集まらなかったし、懇親会もやらなかったかもしれない。最初だからこじんまりしたもんやった」と当時を思い出し懐かしそうに語られました。

その後、碑前祭は大学の主催に変わり、東京校友会は第二部の講演会と午餐会を学士会館で主催する形をとっています。

昨年は碑の前の道路に100名以上の卒業生が集い、その後の懇親会にも80名近くの卒業生が集い校祖の174回目の誕生日を盛大にお祝いしました。170年以上たつても校祖を慕い、その生誕を卒業生がお祝いしている大学は全国でも数少ないのではないのでしょうか。我々はこの良き伝統をこれからもずっと継承していきたいものです。

### 今年の生誕の地碑前祭

2月12日(月・振替休日)に、10時45分から学士会館南側にいる新島襄生誕の地碑前において、碑前祭を大学の主催で行います。その後、第二部は学士会館210号室に場所を移し、11時20分より「地域交流イベント・初春縁日広場」を開催。地元の小・中学生や保護者の方など多くの人に参加願おうという計画です。初春広場にはご家族揃って正月気分を満喫できるように、子供達が参加して楽しめるカルタ・双六・こま回し・けん玉・ゴルフ・川柳などを用意しました。午餐会は事前予約で先着120名様までですが、202号室に場所を移し13時から着席の洋食ランチです。

たくさん地元地域の人々と共に、神田に生まれた新島襄の生誕を賑やかに祝えればと思いますので、皆さんのご参加をお待ち申し上げております。

文責／作村満明(77年・法)



東京校友会120周年記念事業で周辺が整備された「新島襄生誕の地碑」(2017年2月12日)

## IC・電子部品の調達から技術まで一括サポート致します！

明光電子一社で全ての部品がそろい、技術サポート、製造、検査までのプロセスを「早く」「広く」「深く」をキーワードに実践できる、電子の統合サービスが明光電子の強みです。

早いレスポンス — 「情報」と「モノ」を素早く正確に提供  
広いネットワーク — 業界に広く通じているから何でも揃う  
深いサポート — 確かな信頼があるからこそできる協力体制



## 明光電子 株式会社

神奈川県横浜市新横浜 3-18-9 新横浜IOビル  
FAX: 045-471-2377  
E-mail: info@meicodenshi.com

☎ 045-471-2223

明光電子 |

検索

代表取締役 十川 正明  
(昭和48年 機械工学科卒業 合気道部)





NHK杯で7位に入る大健闘を見せた友野一希選手(スポ健1)

同志社スポーツアトム編集部／発

同志社スポーツ

## 友野一希選手 NHK杯で7位

同志社の希望だ。フィギュアスケート部の友野一希選手がNHK杯で大躍進。出場を告げられたのは約1週間前という急日程にも関わらずその名を世界へ轟かせた。

見据えるは五輪

11月10日に行われたISUグランプリシリーズNHK杯1日目、男子シングルショートプログラム。本大会がグランプリシリーズデビューとなる友野一希(スポーツ健康科学部1年)が出場した。PB(パーソナルベスト)を大幅に更新する79・88点で7位という大健闘を見せた。

欠場となった村上大介選手に代わり、急ぎよ『ピンチヒッター』として出場した。出場が友野に告げられたのは11月4・5日に行われた西日本選手権の前日だった。「地元で2回目だったので意外と落ち着いていた」。2年前の世界ジュニアでも急ぎよ出場が決定したという経験が活きた。「トップの選手たちについていけるように自分の実力をしっかりと出していけるように世界にアピールしたい」と前日会見で意気込みを語った。

「今までと違う正統派なクラシック。新しい自分をみせていきたい」。友野は2番目に登場。これまでの大会ではショートプログラムで出遅れることも多く苦手意識もあった。その中で、序盤の4回転サルコーをしっかりと

着氷すると、スピードと音に乗ったステップで会場を沸かせた。トリプルアクセルも「自信がある」という言葉通りに成功させた。最後は足変えコンビネーションスピンのため、ノーミスでまとめた。ポーズの後はガッツポーズも飛び出し、会場からは暖かい大きな拍手と声援が送られた。気になる得点は、79・88とUS

インターナショナルクラシックでマークしたPBを約10点も更新する高得点。「取りこぼしがあったので悔しい。ただ、大舞台でこれだけの演技を出来たのは大きな収穫」。ステップがレベル2の評価になるなどの取りこぼしを悔やんだが、笑顔でショートプログラムを終え手応えを得た。フリープログラムを終え、最終結果は2位と約5点差の7位で大会を終えた。友野一希というスケーターの存在を世界にアピールした。突如やってきたグランプリシリーズの舞台をすぐさま自分の世界へ変えてみせた。

友野が最終的に見据えるのは平昌五輪の出場権。大舞台で得た自信を力にまだまだ躍進する。ようやく始まった友野ストーリーには終幕がない。

(山口佳菜子・政策学部3年)

## 第14回関東同志社スポーツユニオン総会開催

10月29日(日)、東京神田の学士会館において、第14回関東同志社スポーツユニオン総会が開催されました。

当日は、土砂降りの荒天にもかかわらず、169名(来賓・役員除く)の会員の皆様が出席され、盛会裡に開催されました。特に来賓の方々の中には、前日の「同志社フェアin高梁」からとんぼ返りで参加された方も多く、熱気あふれる総会となりました。

例年のとおり、第二部では講演会が行われ、今年は、学校法人同志社八田英二総長・理事長と山岳部の現役の大学院生で極西ネパール登山隊長の仙田裕樹さん(大学院理工学研究科)が演壇に立たれました。

八田総長・理事長からは、日本学生野球協会や高野連の会長を務められている立場から強く感じられることとして、人格形成におけるスポーツの役割の重要性についてお話がありました。

また、仙田さんからは、同志社



山岳部・仙田裕樹さんの講演

山岳部の西ネパールでの活動とヒマラヤ登山の魅力について大変興味深いお話がありました。特に、ヒマラヤ登山の魅力は、未知未踏峰がまだまだ眠っていることに尽きること。

また、1960年代からの山岳部とクムジュン村との関わりや2015年ゴルカ地震で崩壊した同村の学校修復活動についても生き生きと語られました。

第三部の懇親会では、東京校友会児玉正之会長より関東地区開催全国大会出場クラブへの支援金を贈呈いたしました。

文責／青木重之(78年・経)



連載  
企画

# 片桐家同志社五代記

その二十三

今回は、片桐家から同志社に学んだ者が何人ぐらい居るのか調べてみたい。

先ず初代清治は、新島襄に学んだ後仙台で牧師として生涯を終えるが、そのような環境にありながら、二代目となる息子達6名全てを同志社に学ばせている。子供のためには教育費を惜しまなかったとは言え、良くそ子供達を同志社に送り出したものだ。しかし、その自分達の生活は質素そのものだった。

ただ、女子は同志社に行くことはなく、長女キクヨは牧師だった鈴木小助に嫁いだ。この家系からは牧師が何人も出ているが、残念ながら同志社で学んだ者は一人もいない。

二女のキヨは軍人の大隈一蔵に嫁いだが、この家系からも同志社人は出ていない。

三女キミは、晩年学校法人宮城学院名誉理事も勤めた大石榮一に嫁ぎ6女に恵まれるが、長女和子は大森教会の牧師岩村信二に嫁いでいる。ただこの家系からも、同志社で学んだ者はいない。

文／片桐 陽(67年・工)

このように、女子や京都を離れた所で生活していた兄弟の子供達からは、同志社で学ぶ者は殆ど出ていない。

ところで、我が祖父卓は清治の長男だったこともあり、二代目として最初の同志社人となった。ただ、明治31年宮城県中学校から同志社中学に編入するも、

残念ながら健康を害し、3年で止む無く中退している。卓は若き日同志社で充分学ぶことができなかったこともあってか、子供達は男子3人女子3人全てを同志社で学ばせている。中国大陸各地で領事館に勤務し総領事を勤めていたこともあって、経済的に何とかなったようだ。

また清治の次男哲の子供3人も同志社で学んだ。それと清治の末っ子京も京都に住んでいたこともあり、二人の息子を同志社で学ばせている。このように三代目は、私の母親美智のように結婚した相手も入れて、総勢12人が同志社で学んでいる。

片桐家の同志社人は、初代清治から、二代目は6人、三代目が12人となるが、続く四代目は私を含めて僅か4人。五代目になると、更に減って僅か2名になってしまう。しかしながら、初代から五代目までを合計すると、25人となる。この数を多くと見るか少ないと見るかであるが、私は充分に多いと思いたい。ただ、三代目までは同志社人として11人が続いていたのだが、四代目まで続くととなると、僅か3人となってしまふ。

このように同志社に学ぶ者が減ってしまった理由は、仕事の関係や結婚などの理由で多くの親族が京都から遠く離れ、全国に散らばって行ったことが一番大きな原因かと思う。でも、今後も何とか同志社を目指す若人が出て来て欲しいものである。



片桐祐と昌の家族と、祐・昌の兄弟姉妹

連載  
コラム

## 今出川四季



日本医所株式会社  
執行役員 営業本部長  
福山 孝広(2002年・商)

## 受験前も在学中も睡眠時間は3時間

お金を稼ぎたい。更に勉強が嫌いだった私は、嫌いな勉強をするために、お金を支払う大学に興味がなかったため、高校を卒業後、自動車メーカーに入社しました。

高卒にしては給料もよく、寮まで完備されていたので、お金を稼ぎたい私にとって、言い過ぎかもしれませんが、天国のような所でした。しかし、働いている中で理論的にも学びたいという思いから大学進学を決意。

高校卒業後、5年のプランクがあり且つ、受験まで半年間しかなかったため友人からも「はつきり言って合格は無理だ。ましてや同志社大学なんて」。レベルの高い大学で学びたいと考えていた私は睡眠時間を削り、仕事の休み時間も勉強をした結果、見事合格。

私は覚えていないのですが、受験までの半年間、3時間位しか睡眠をとっていませんでした。私に、当時友人は「このままだと体を壊すぞ」といい、



在学中に大学の広報からインタビューを受ける筆者

それに対して私は「ナポレオンも3時間の睡眠で偉業を成し遂げた。同じ人間の俺に出来ないわけがない」と豪語していたようです。

在学中は今出川校舎近くで一人暮らしをしており、大阪の会社勤務していた私は、毎日、5時に起床し6時の電車で大阪へ。17時に仕事を終え京都に戻り夜の講義に出席。講義終了後は帰宅して会社から持ち帰った仕事や大学の勉強をし、寝るのは毎日深夜2時位。結局、在学中も3時間睡眠になってしまふという結果に(笑)。

現在は日本医所(株)に勤務(t-fukuyama@nipponisho.co.jp)しており、東京校友会では「料飲同志社」という団体の副会長をしております。

# あのアーモスト寮で得たもの

桜美林大学 学長

三谷高康さん 1976年(昭和51年) 神学部卒業

みたに・たかやす 1950年 大阪生まれ 1976年同志社大学神学部卒業 1980年イエール大学大学院修士課程修了 1983年アンドリュー・ニュートン神学大学院博士課程修了 2006年桜美林大学教授 2009年桜美林大学宗務部長 2012年桜美林大学の第四代学長に就任 専門はキリスト教神学



「リベラルアーツを大切に」と三谷学長

## 校友 訪問

GPAによる成績評価や履修科目のナンバリングなど、アメリカの大学のよい部分を積極的に取り入れて、今や最も大学教育改革の進んだところと目されている桜美林大学の旗振り役、三谷高康学長は同志社大学神学部卒の校友だったのです。

### 禅寺の雲水から神学部への青春

私は1950年生まれですが、この生年で、神学部を卒業したのが1976年となると、怪訝に思われる方がいらっしゃるかもしれません。その辺りのことからお話しすると、実は、小学校から大阪教育大付属なんです。高校生の時に「ちよつと思ふところあり」で、富山県高岡にある禅宗の寺で一年ほど雲水をやっていたことがあります。

今から考えれば、青春期にありがちな精神的なトラブルですが、その時はそれで落ち着き、母の実家である四国・観音寺で一年遅れで高校を卒業し、その寺で3年間暮しました。もう一つ、実は父はクリスチャンです。振り返れば、何かそうした宗教的家庭環境が、私の青春期の精神的遍歴につながっていたのかもしれない。そして、その遍歴の行き着いたところが、同志社大学の神学部だったのです。1972年に入学しました。同志社の神学部にはそれまで洗礼をうけた者のみが入学していたわけですが、その条件がなくなったのがこの年からでした。

### 新島襄、清水安三、桜美林大学

神学部は小さな学部でアットホームな雰囲気がありますが、それとともに74年に入ったアーモスト寮での生活が私に大きな人生経験を与えてくれました。そこでは文学部から工学部まで、様々な学部の学生とアーモスト大学の卒業生が寝食を共にする生活。同時に海外からのゲストとの出会いも多く、今風に

に言えばグローバルな視点を養うことができたですね。寮では年齢などによる上下関係を作らないようにと、寮生が互にニックネームで呼び合うんですよ。私のニックネームは「バテ」。つまり「伴天連」のバテです(笑)。その後の生き方のバックボーンとなる「主人性」という言葉も、そこで得たもの。何事も自分自身が主のように責任のある行動をせよ、ということだと理解していますが、寮では常にこの「主人性」が問われました。今も、何かを判断するときはこの言葉を思い出します。

もう一つ、アーモスト館といえば、館長は皆さんご存じのオーティス・ケリー教授ですが、後に妻となる教授の次女とこの寮で知り合ったのも、私には実に大きな出来事でした。

神学部卒業後は、アメリカに留学してアンドリュー・ニュートン神学大学院など新島の母校で勉強をし、帰国後は、全国各地での教会活動と幾つかのキリスト教系大学での教職とを両立。そうした中、ご縁があった2006年から桜美林大学に

籍を置くことになったわけですが、桜美林といえば、学園の創立者清水安三は同志社大学神学部卒業後、1917年に日本人宣教師第一号として中国に派遣された人。後に米国留学の折、教育者オベリンの教育思想に出会い、それが今日の桜美林の名の由来とされています。清水安三には1975年に当時の同志社総長住谷悦治先生から名誉学位(神学博士)が授与されました。授与式はアーモスト館のホールで行なわれましたが、当時、寮生だった私はその場に居合わせました。そうした同志社と縁の深い桜美林に籍を置くことに、いま深い感慨を覚えています。

桜美林大学の特長は、新島も大事にした「リベラルアーツ」と、「プロフェッショナルアーツ」の二つの「学群」を展開。学部ではなく学群制ということも含め、最も大学教育改革の進んだ大学という評価をいただいています。さらに国内外の認証評価の仕組みを取り入れ、充実させていこうと思っています。

\*

文責・谷村和典(72年・文)



【好評連載】首都圏・校友の店

2

## UOMAN DINING(丸の内)

**個性豊かな6種類のレストランが  
ワンフロアに集結。驚きの新業態！**

東京駅から徒歩6分で、地下鉄大手町駅直結の「うおまんダイニング」は、1つのフロアに6つの個性豊かなお店が展開する、ユニークなレストラン。校友 荻田芳明社長（88年・工・同志社国際高校一期生）が経営する中央フードサービス（株）の東京進出第一号店です。



中央フードサービス(株) HP: <http://www.cfs.co.jp>

うおまんダイニング

■住所: 東京都千代田区丸の内 1-1-3  
日本生命丸の内ガーデンタワー B1F  
(東京駅より徒歩6分)

■電話: 03-5224-5510

■E-mail: [uoman-dining@cfs.co.jp](mailto:uoman-dining@cfs.co.jp)

■営業時間: 11:00 ~ 23:00

(業態・曜日により異なります)

■定休日: 日・祝日 (年末年始)

ヘブズレシビ

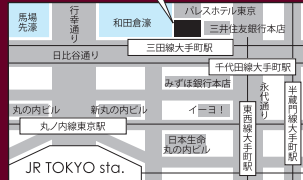
■住所: 東京都渋谷区神宮前 5-10-1 ジャイル 4F (表参道駅より徒歩5分)

■電話: 03-6433-5795 ■E-mail: [cfs408@cfs.co.jp](mailto:cfs408@cfs.co.jp)

■営業時間: 11:30 ~ 17:00、17:00 ~ 23:00 (ラストオーダー 22:00)

UOMAN DINING

日本生命丸の内ガーデンタワー



6つのお店の構成は、まず、接待や大切なお食事に最適な個室席を設けた、鮮魚が自慢の和食『うおまん』。

次に、パーティーなど大人数での集まりには便利な貸切りパーティースペース『バンケット』。

気軽に1杯から楽しめる、最近大人気のスペインバル『ラカスエラ ロハ』。

おでんや旬のおばんざいと、各地から厳選した地酒が揃う日本酒バル『さわら』。

本場の雰囲気を楽しめる台湾小皿料理『五福』は、仕事帰りにふらりと立ち寄りたくなるお店ですね。

友人とコーヒーでお茶したり、ビジネスランチに使ってみたり、カジュアルなひとときを過ごせるカフェ『Cafe 113』は、テイクアウトもOK。

もちろん、店内のはしごも大歓迎ですし、会食・宴会は、少人数から、貸し切れば180名以上の大人数まで対応可能。

つまり『うおまん ダイニング』は、どんなシーンにもフィットする便利なダイニングです。

荻田社長に、このようなユニーク店を運営できる秘訣をお尋ねしたところ、もう一つの基



荻田芳明社長は、同志社国際高校の1期生

幹事業である給食事業の強みとの掛け合わせとの答え。

同社は、一日3000食以上の社員食堂を複数運営。そこで培った安全・安心を基盤とした幅広いカテゴリーのお料理を大量供給できるノウハウと外食部門の技術・センスを融合させることで実現した新業態なんです。

さらに、昨年の9月には、表参道に、ココロとカラダをきれいにするオールデイダイニング『Heaven's Recipe (ヘブズレシビ)』もオープン。年次会や各種会合にご家族・ご友人との会食に、さらにはお勤め先などのご宴会に、ぜひご活用ください。

●東京校友会会員特典のご案内  
会計時に会員証を提示すると10%OFF (ランチ・宴会を除く) の特典。

文責/青木重之(78年・経)

DAIKIN

世界中でつくります。なかった空気。できなかった空気。

国が違えば、暮らしが違えば、欲しい空気も違うはず。  
ダイキンは最新の空調技術で、その全てに応えたい。



ダイキン工業株式会社

## 東京校友会 関係諸団体の活動 2017 年レポート

団体名、イベント名	日時、会場、参加者数、講演者、講演テーマなど
神奈川県支部 「同志社神奈川の集い」	11月26日(日) 13:00～19:00 横浜駅東口 崎陽軒本店 来賓12名 会員130名 一般48名 合計190名 地域交流映画鑑賞会：ドキュメンタリー映画 「葛監督 ～高校野球を変えた男の真実」 講演：八田英二 高校野球連盟会長／総長・理事長「高校野球のお話」
千葉県支部 「総会・講演会・ビデオレター・ 芸術作品展・懇親会」	6月10日(土) 14:00～18:15 山崎製パン企業年金基金会館 ＜総会＞80名(来賓10名含む)＜特別講演会＞90名(一般市民含む) 講演：同志社大学法学部 浅野亮教授 最近の中国情勢「北朝鮮・南シナ海・党大会」 ビデオレター：プロゴルファー・解説者 小田美岐氏 「千葉県支部の皆様へ」
埼玉県支部 「総会・懇親会」	11月18日(土) 14:00～17:00 大宮JACK18階「東天紅」(JR大宮駅そば) 41名 昨年度より講演会を無しにして、会費を10,000円から8,000円に値下げしました。また、 今年度の事業としまして平成30年3月31日(土)に、バーベキューを予定しています。 日高市にある「サイボク牧場」にて、多くの会員とその家族に参加していただき、会 員相互の交流をさらに広げて行きたいと願っています！
群馬県支部 「総会・地域交流講演会及び 懇親会」	10月21日(土) 12:00～ マリエール太田(群馬県太田市) 総会44名 懇親会70名(同窓会、来賓含む) 講演会160名(一般市民90名、同志社関係70名) 講演：ノンフィクション作家・評論家 保阪正康氏(同志社OB) 「近代日本を俯瞰し、今後の日本について考える」
茨城県支部 「総会・コンサート・懇親会」	9月30日(土) 12:20～16:30 甲子亭(牛久市) 出席者 33名 ソプラノコンサート：森桂子さん(支部会員・昭和55年文学部卒) ピアノ伴奏：加藤真矢子さん(客員)
山梨県支部 「総会・講演会・懇親会」	12月2日(土) 13:00～17:00 ホテル談露館 講演：内藤正典 同志社大学グローバルスタディーズ研究科長・教授 「中東の危機と日本」
長野県支部 「総会・講演会・懇親会」	12月2日(土) 10:30～ ホテルブエナビスタ 40名 講演：同志社大学 松岡敬学長 「同志社大学ビジョン2025～躍動する同志社大学～」
同窓会東京支部 「総会・120周年記念懇親会」	4月22日(土) 11:30～ ホテルニューオータニ 約120名 講演：日本国連協会理事 伊勢桃代氏 「二十一世紀に向かって、人ひとり大切」
樹徳会東京支部 「大名刺交換会・総会・講演会・ 懇親会」	11月25日(土) 17:00～21:30 神田錦町 学士会館 来賓13名 会員102名 合計115名 講演：村田晃嗣氏 前学長／法学部教授 「米国トランプ大統領×アジアの金正恩」
同経会東京支部 「同経会東京のつどい」	11月6日(月) 18:30～ 日本プレスセンタービル10階 約80名 講演：保阪正康氏 ノンフィクション作家・評論家／日本近現代史研究者 「昭和・平成そして新時代へー日本社会はどう変わるかー」
政法会東京支部 「無料法律相談会」 「定時総会」	＜無料法律相談会＞ 2016年11月23日(祝) 13:00～ 横浜市民活動支援センター 来場者8名 2017年6月2日(土) 13:00～ 横浜市民活動支援センター 来場者3名 ＜定時総会＞ 9月13日(水) 18:00～ 同志社大学東京サテライト・キャンパス 46名 講演：同志社大学大学院 浜 矩子教授「アホノミクスの断末魔」
理工会東京支部 「総会」	10月3日(火) 18:00～ 同志社大学東京キャンパスセミナールーム 58名 同志社大学 松岡敬学長、横川隆一副学長、林田明理工学部長、橋詰源治理工 会会長、児玉正之東京校友会会長、奥出聡東京支部長等の参加を得て、盛大に執り行 われた
関東同志社スポーツユニオン 「総会」	10月29日(日) 12:00～ 学士会館 169名 講演：八田英二 学校法人同志社総長・理事長「良心教育とスポーツ」 山岳部OB 仙田裕樹氏「ネパール・クムジュン村での校舎建設とヒマラヤ登山の歩み」



幹事会・評議員会報告

9月27日(水)に東京サテライト・キャンパス(SC)にて開催されました。

児玉会長が「校友会紹介でサnder毎日に掲載されました。また立教大学経済人クラブと交流を進めて行く。さらに奨学金制度だが、面接で3名選出し速やかに実行します」と挨拶。

議案

◆2025 ALL DOSHISHA 募金  
創立150周年に向けて10月1日から募金活動を開始する。

◆評議員・幹事の追加選任  
評議員・松岡みゆき(S58会)幹事・平井 裕(体育会卓球部)任期 2021年3月31日迄

◆活動計画

①特別協力会員の集い  
2017年11月22日(水) 東京SCで、講師に松岡学長を

迎えて、「同志社大学ビジョン2025」を詳細に解説していただく。

②生涯の地碑前祭

2018年2月12日(振替休日) 地域ぐるみの企画推進。

③特別講演会

2018年2月22日(木)に東京SCにて実施予定。講師は前総長 大谷實氏。

④第3回親睦ゴルフコンペ予定

2018年4月10日(火) 太平洋クラブ市原コースで開催(雨天変更)

⑤第20回「春の集い」

2018年5月27日(日) 会場を替えホテルニューオータニで予定。全員着席スタイル。

⑥同志社大学現役諸団体へ支援  
関東地区で実施される諸団体行事(試合等)に、要請があれば、積極的に支援、協力する。  
文責/横山徹(71年・工)

すみれ亭 昭和38年会俳句会

渡り鳥幸せかつて呼びかける

坂部 清龍

命がけで大空を飛翔する渡り鳥。それがわれわれを魅了するのはその健気さと悲壮さ故であろう。傷ついたり疲労が極限に達したりするとひっそりと墜落する。  
われわれは空を仰いでエールを送ること位しかできない。  
(選評・あかぎ倦鳥)

東京サテライト・キャンパスで「認知症セミナー」開催

厚生労働省によると、65歳以上の4人に1人が認知症とその予備軍だそうです。気になるテーマですね。世界ではじめてアルツハイマー型認知症の進行抑制剤「アリセプト」を開発した同志社大学生命医科学部客員教授杉本八郎先生が10月から東京サテライト・

編集後記

今号は、通常の12ページから4ページ増やして16ページにしました。特別協力会員の集い、ホームカミングデー、同志社フェアといった校友会にとって重要なイベントのレポートを詳しくお伝えするためです。

また、別冊として「特別協力会員のご紹介」も刊行しました。当初、東京ジャーナルでは、誌面に限りがありますので、一部の方の「自己紹介」を掲載させていただく予定でした。しかし、それだけでは勿体ない、東京校友会の事業に対して格別のご理解とご協力をいただいている特別協力会員の皆様について、

キャンパスで「認知症セミナー」(無料)を開催されています。第3回は2月14日(水)15時。今回のテーマは「アリセプト開発秘話と治療の現状」。どなたでもご参加いただけます。参加のお申込みはメールもしくはFAXでお名前、連絡先をお送りください。FAX:03-6265-1932 メール:hsuginoto@congnition.or.jp 開催は原則毎月第二水曜日の予定です。

東京校友会の会員に広くご紹介させていただきたいということで、原稿をいただいた方、全員「自己紹介」を掲載させていただきます。

会員相互の親睦やビジネスのお役に立てば幸いです。

文責/新田博伸(77年・法)

DOSHISHA TOKYO JOURNAL

2018.Winter. NO.110 同志社東京校友会

〒101-0047 東京都千代田区神田 3-22-7 大平ビル6階

電話: 03-5579-9728

FAX: 03-5579-9729

発行人/児玉正之

編集人/新田博伸

印刷/株式会社スバルグラフィック

http://www.doshisha-tokyo-alumni.jp

mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

HP 会員ページ  
ログイン情報

ID=doshisha  
PASS=1875

答えを探し続ける、という答え。

A D A S T R I A

GLOBAL WORK

LOWRYS FARM

LEPSIM

niko and ...

studio CLIP

JEANASIS

Andemiu

apart by lowrYS

BAYFLOW

BARNYARDSTORM

Heather

HARE

RAGEBLUE

BLISS POINT

repipi armario

BABYLONE

me%